

## 花の道部門

### 総 評

昨年以上の暑さが続く中、皆さんには素晴らしい花の道を育てていただきました。100m以上にわたる大規模な花壇、地域やグループの総力を挙げねばこなせない作業を——耕起、資材散布、育苗、定植、水やり、花柄つみなど——、10年、20年、さらには30年以上にわたって取り組まれていることに、頭が下がります。

①大きな大きなコキア、ハゲイトウの育て方(南部第六福寿会)、②幼稚園児から80歳代の地域のまとまりと分担力(下伏間江地域環境保全委員会)、③地域の子供らを主役とした組織的な活動(新庄北小学校&地域団体、櫛田の里 FlowerRoad、興南中学校教育後援会&生徒会美化実践部)など、すばらしい花壇に潜む努力・源を、是非、直接、見て聞いていただきたいと思いました。

長い花の道に一体感とリズムを醸し出し、省力化も考えた宿根草・花木の植生、竹や樽による造作物の活用、地力に即した有機物・緩効性肥料の施用など、皆さん、果敢に取り組まれていました。

「自分ら、好きやからやるし、好きなようにやってるが、楽しいよ・・・(立野栄町花づくり会 小林代表)」の声に、花の道を歩いて私たちも楽しくなる理由があるように感じました。

### 最優秀賞評

富山市の「新庄北小学校&地域団体」が初の最優秀賞となりました。平成22年に新庄北小学校が開校し、親しい友達と別れるなどして不安な子供たちを元気にしたいと、花壇づくりが始まったとのことです。123mの花壇を3年生が20班に分かれ、先生方、自治振興会、社会福祉協議会、花と緑の地方銀行などのサポートを得ながら、一年を通してお世話されています。

①班ごとの独自のデザインのなかに、全長を通したルドベキア(黄)が全体の一体感・リズムを醸成、②一年を通して楽しめる花たちの植栽など、花壇そのものの素晴らしさに加え、③間伐材、枕木を活用した花壇づくり、④花を育てる大切なことへの理解(勉強会等)、⑤写真コンテストの開催(3年生が審査員)など、子供たちを主役にしつつ下支えされている、周りの大人の皆さんの努力が溢れていました(楽しまれながらですが・・・)。

3年生の諸君、これからも花とふれあう楽しさを五感で感じ、大人の皆さんにもたくさん楽しさを分けてください。そして、大人になっても花と親しんでください。

(審査委員長 石黒哲也)